

感震ブレーカーに関するアンケート調査結果 【概要版】

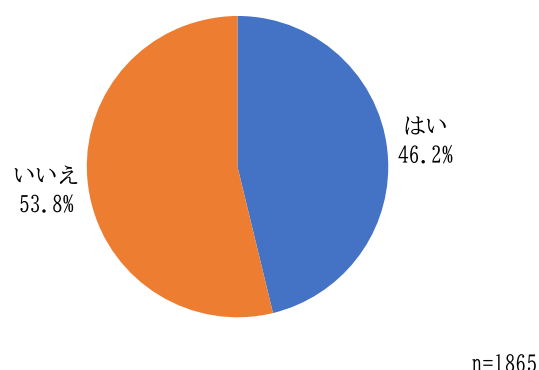
【調査概要】

調査対象 : 川崎市小田1丁目～6丁目、幸区幸町1丁目～4丁目の全世帯
世帯数 : 9,220 世帯(投函拒否世帯除く)
調査方法 : 調査票をポスティング投函、郵送又はインターネット回答フォームで回収
調査期間 : 令和7年1月9日(木)から同年2月21日(金)
回収数等 : 1,883 件(回収率 20.4%)

1.感震ブレーカーの認知・設置

◆感震ブレーカーの認知は半数近く

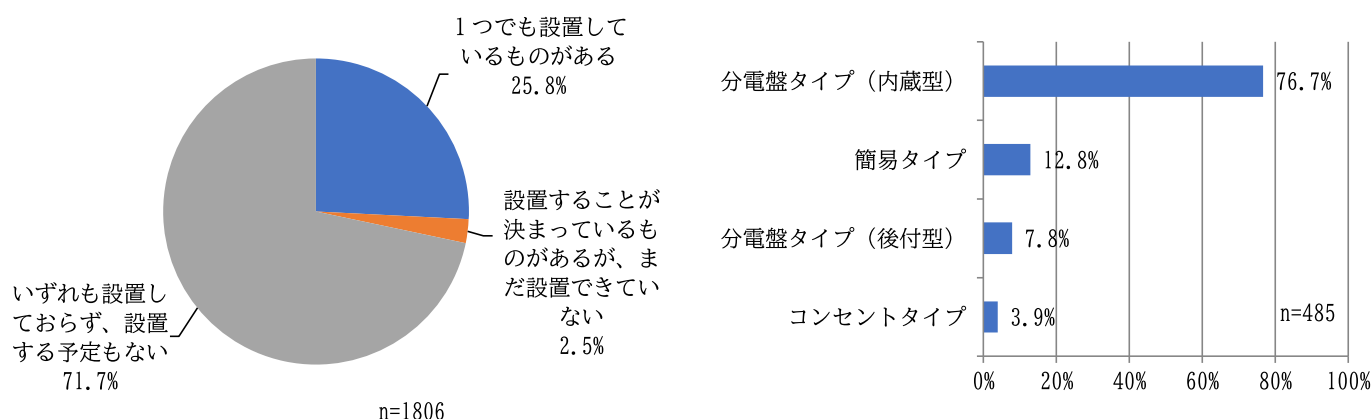
感震ブレーカーの認知について、「はい」が 46.2%、「いいえ」が 53.8%となり、半数近くの世帯が感震ブレーカーを認知していました。



◆約 1/4 の世帯で感震ブレーカーを設置

感震ブレーカーの設置状況は、「1つでも設置しているものがある」世帯が 25.8%と、約 1/4 の世帯で設置されていることがわかりました。

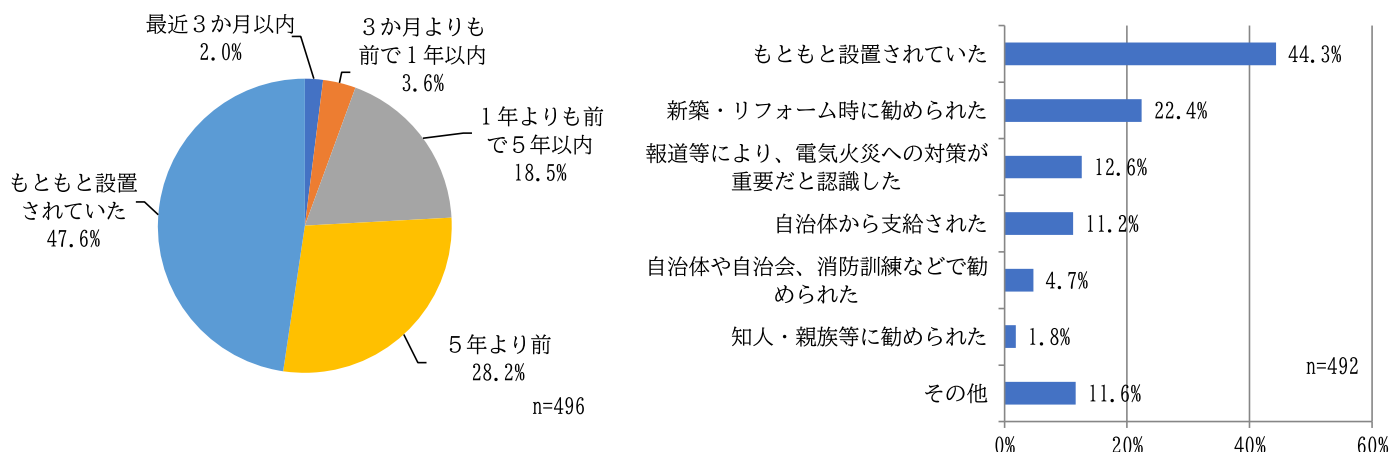
感震ブレーカーの種類では「分電盤タイプ(内蔵型)」が最も設置されています。



2.設置の背景について

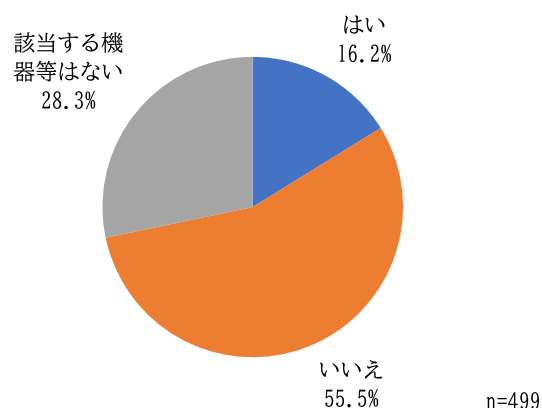
◆もともと設置されているケースが多い

設置の「時期」「きっかけ」とともに、「もともと設置されていた」ケースが最も多くなっています。



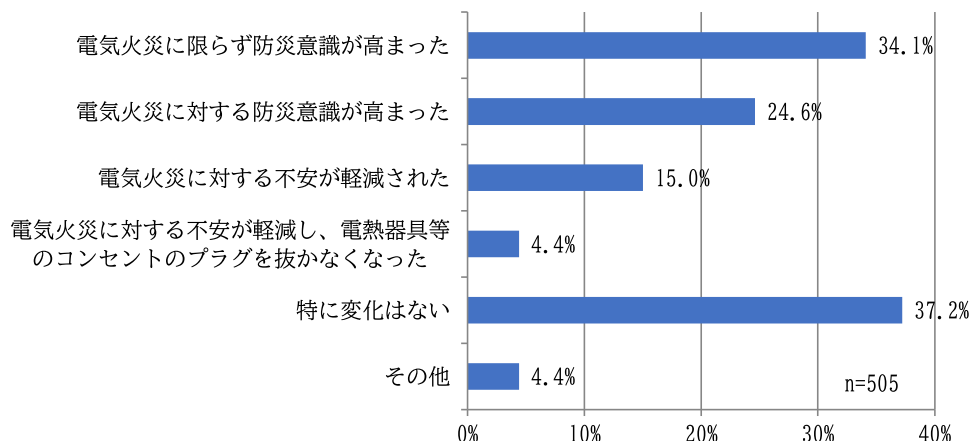
◆バッテリーや非常用電源の備え

バッテリーや非常電源の備えは 16.2%にとどまりました。



◆防災に対する意識や行動の変化

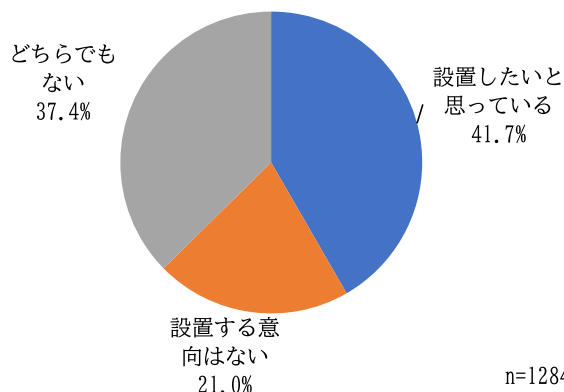
感震ブレーカーの設置を考える前と現在とで、防災に対する意識や行動の変化は、3割以上の方が「電気火災に限らず防災意識が高まった」と回答されていました。一方「特に変化はない」と回答した方も多くいました。



3. 感震ブレーカーの設置意向

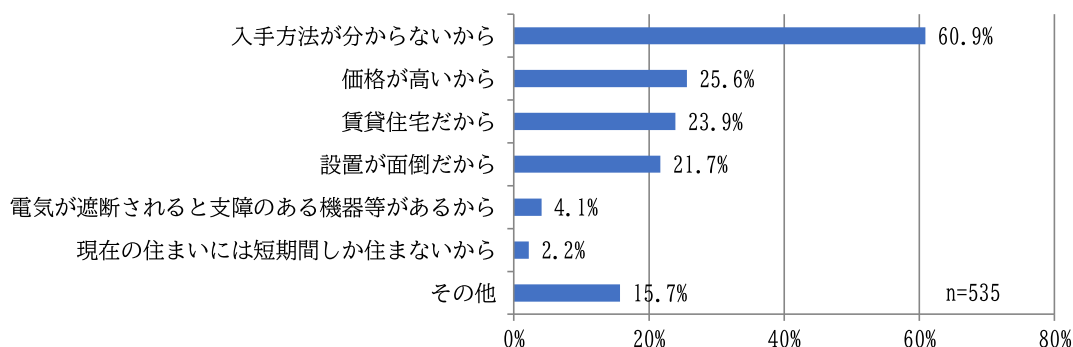
◆約 4 割が設置したいと思っている

今後の設置意向は、「設置したいと思っている」が 41.7%、「どちらでもない」が 37.4%、「設置する意向はない」が 21.0%となりました。



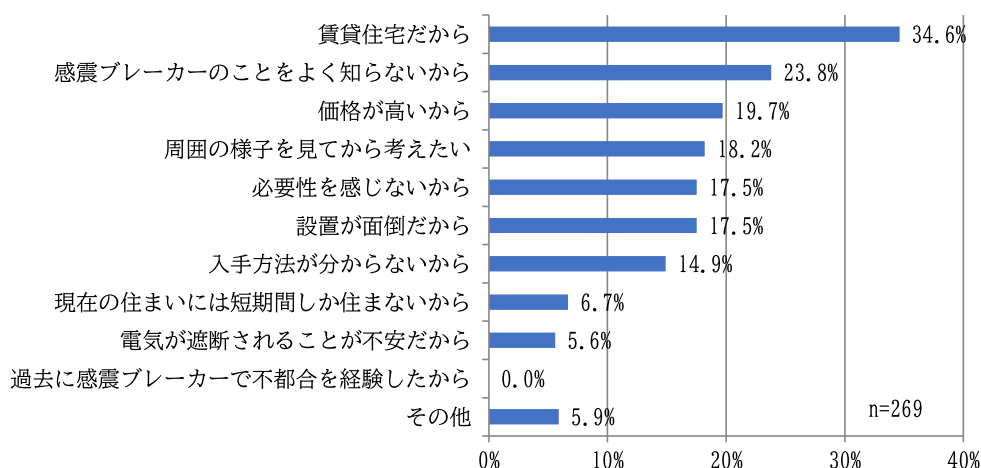
◆設置に至っていない理由は「入手方法がわからない」が多い

感震ブレーカーの設置に至っていない理由は、「入手方法が分からないから」が 60.9%と最も高く、次いで「価格が高いから」が 25.6%、「賃貸住宅だから」が 23.9%となっています。



◆約 1/3 が、賃貸住宅のため設置を考えていない

感震ブレーカーを設置しようと思わない理由は、「賃貸住宅だから」が 34.6%と最も高く、次いで「感震ブレーカーのことをよく知らないから」が 23.8%、「価格が高いから」が 19.7%となりました。

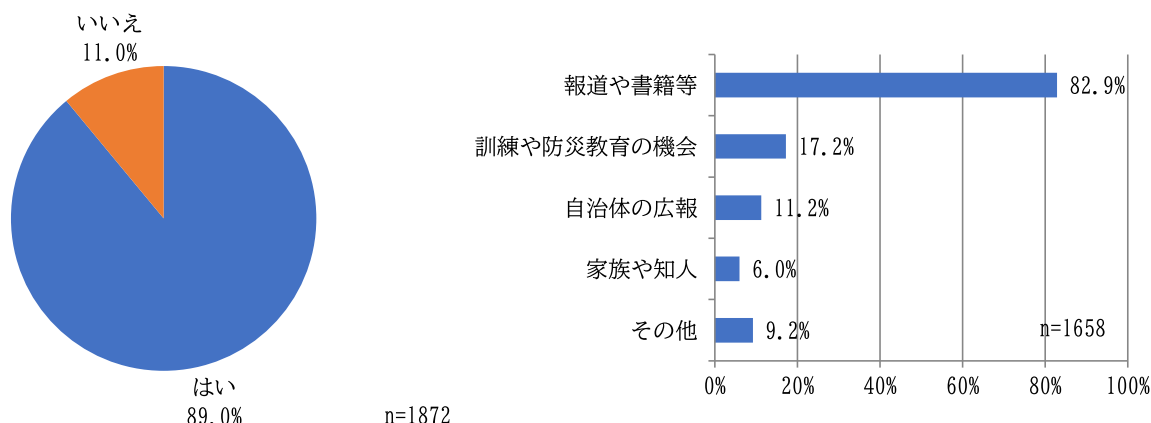


4.防災意識について

◆地震時の電気火災については 9 割近くが認知

地震時に電気が原因で火災が発生することの認知について、「はい」が 89.0%、「いいえ」が 11.0%となりました。

電気火災の存在を認識したきっかけは、「報道や書籍等」が 82.9%と最も多くなっています。



◆地震時の防災対策としては、明かりの確保と備蓄の意識が高い

地震時の防災対策として意識していることや取り組みとしては、「懐中電灯や常備灯などの停電時の明かりの確保」、「飲料水や食料、非常用トイレ等の備蓄」を 6 割以上の方が回答しています。

